

英語科学習指導案

令和3年10月 第3学年 指導者 飯田 麻衣子

1 単元名 NEW HORIZON English Course 3 Unit5 A Legacy for Peace

2 学習指導要領上の位置付け

第2章 外国語科の目標及び内容

第2節 英語

1 目標 (4) 話すこと [発表]

ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。

2 内容 (2)

イ 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や表現を、選択したり抽出したりするなどして活用し、話したり書いたりして事実や自分の考え、気持ちなどを表現すること。

3 目標

ALT に自分の憧れの人物について関心をもってもらえるように、その人について調べた情報や自分の伝えたいことを整理し、簡単な語句や文を用いて発表したり、その内容についてやり取りしたりすることができる。

4 指導計画 ※別紙参照

5 本時の展開（7／8）

(1) ねらい 友達からの評価や、録画動画を参考に自身の課題を明確にした上で「The person I respect」について聞き手の質問に答えながら即興的に話すことができるようにする。

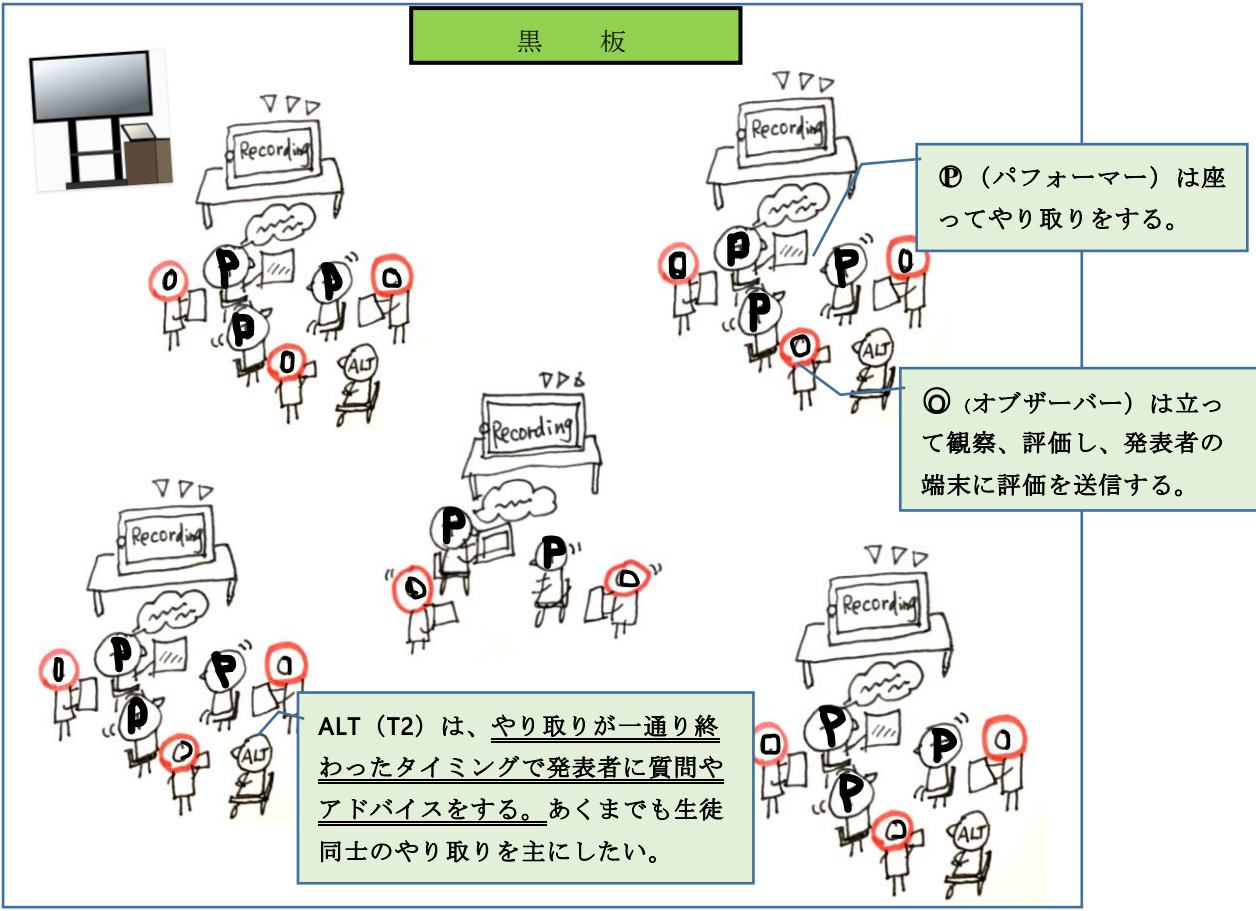
(2) 展開

学習活動 ・予想される児童（生徒）の反応	時間	○指導上の留意点 ◎研究上の手立て 〔記〕記録に残す評価
1 あいさつ		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">評価項目<方法（観点）></div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto;">〔めあて〕 互いの「The person I respect」について知るために、自分自身の目標を意識しながら発表し合ったり、その発表をもとに自由にやり取りをしたりしよう。</div>		
2 前時の振り返りと目標設定 前時の発表動画と友達からの評価の内容をICT端末で見て、自分自身の目標を確認する。	5分	◎共通の評価項目だけでなく、自分に必要な項目をICT端末の評価シートに入力させることで、個々の目標を明確にさせる。
3 3人グループの「The person I respect」発表会で自由なやり取りをし、その後、録画した動画や友達からの評価、アドバイスを参考に自己評価をおこなう。（1人5分程度）	20分	◎①パフォーマー（3人）と②オブザーバー（3人）に分かれ、①は②を囲むように立って観察し、②の発表や、やり取りの内容を評価し、3人それぞれのICT端末に送信する。（発表とやり取り両方を評価する項目※別紙参照） 3人の発表が終わると、①と②を交代する。 ○すらすら言えなくても大丈夫だと励ましたり、表現のアドバイスをしたりしながら机間支援を行う。 ◎自分の端末で発表に必要な資料を提示し、友達の端末で録画する。生徒間通信で送り合い、自身の動画が見られるようにする。 ○1人の発表とやり取りが終わったタイミングで、ALTやT1、T2が発表者に質問をしたりアドバイスをしたりする。（即興性のあるやり取りになるよう見守りながら、主体となる生徒同士のやり取りの延長として補足的に行う）
4 パフォーマーとオブザーバーを交代して発表会をおこなう。	20分	3と同様 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">◇友達の評価を参考にしながら憧れの人物について発表したりやり取りをしたりしている。 <CAN-DOリスト、評価表、ロイロノート/(3)></div>
5 録画動画と友達から送信された評価や感想を確認し、自分自身の取組を振り返る。 ・英語だけで会話できたか。 ・相手のリアクションを確認しながら話せたか。 ・聞き手の質問に応じられたか。 ・話し手に質問、リアクションができたか。 ・自身の課題を達成できたか。	5分	○友達からの評価を教師の端末に提出させる。 ○CAN-DOリスト（紙のワークシート）に自己評価を書いて振り返りをさせる。（端末ではなく、紙に書かせる方が生徒の実態に合っているため）

6 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">Goal</div> <p>互いの「The person I respect」について知るために、自分自身の課題を意識しながら発表し合ったり、その発表をもとに自由にやり取りをしたりしよう。</p>			1ターンにかかる時間（展開の3, 4）				
<p style="text-align: center;">MENU</p> <ul style="list-style-type: none"> ○前回の自分の動画を見て、評価シートに今日の目標入力 ○発表・撮影（録画、友達からの評価） ○パフォーマーとオブザーバーの交代 ○動画と評価表を端末で提出 ○CAN-DOリストの記入 			パフォーマー	オブザーバー			
		所要時間	a	b	c		
		2分	発表	聞く			
		2分	やり取り		聞きながら、評価、aに送信		
		2分	ALTからアドバイス	準備			
		2分	聞く	発表	聞く		
		2分	やり取り		聞きながら、評価、bに送信		
		2分	ALTからアドバイス	準備			
		2分	聞く	発表			
		2分	やり取り		聞きながら、評価、cに送信		
		2分					
		4分	パフォーマーとオブザーバーの交代			自分たちの発表準備、評価表を評価者に送信	

教室内の生徒（28人）の配置 ㊦がパフォーマー、㊧オブザーバー



指導計画 外国語科 第3学年 単元 NEW HORIZON English Course5 A Legacy for peace (全8時間計画)

目標	ALT に自分の憧れの人物について関心をもってもらえるように、その人について調べた情報や自分の伝えたいことを整理し、簡単な語句や文を用いて発表したり、その内容についてやり取りしたりすることができる。			
評価規準	(1) ALT に自分の憧れの人物を紹介するために、名詞を修飾する文と関係代名詞を用いた文の構造を理解するとともに、その人についての事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。 (2) ALT に自分の憧れの人物について関心をもってもらえるように、その人についての事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 (3) ALT に自分の憧れの人物について関心をもってもらえるように、その人についての事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。			
過程	時間	○ねらい めあて	・振り返り (意識)	評価項目 <方法 (観点)> 〔記〕 記録に残す評価
つかむ	1	○教科書を読み、ガンディーの生い立ちについて、既習の英語で表現することができる。 ガンディーがどんな人か知り、英語で説明しよう。	・平和や人権を主張し続けたガンディーについて既習の英語で表現することができた。 ・名詞を修飾する文 (接触節) の用法について理解することができた。	◇平和や人権の大切さを考えるために、ガンディーの生涯と功績について書かれた文章の概要を捉えたり、憧れの人物を紹介したりしている。 <CAN-DO リスト、評価表(2)>
	1	○人や物について詳しく伝えることができる。 《単元の課題》 ◎「The person I respect」について発表したり自由にやり取りをしたりしよう。 多くの人に影響を与えた人物について既習の英語で詳しく表現しよう。	・相手が興味をもつ内容や話し方について、今後更に深く考えていきたい。 ・友達の憧れの人物について聞いてみたい。	◇名詞を修飾する文と、関係代名詞 who, that(which) (主格・目的格) を用いた文の理解をもとに、言葉に詳しい情報を加えて説明することができている。 <CAN-DO リスト、評価表、ワークシート(1)>
追究する	1	○教科書の内容を通して、ガンディーの多大なる功績について概要を捉えることができる。 情報を加えてどんな人かを説明する言い方を知り、有名人について英語で表現しよう。	・教科書の内容について相手が興味をもって聞けるようにするためにキーワードや写真を見ながら話すことができる。 ・関係代名詞の用法について理解することができた。	◇名詞を修飾する文と、関係代名詞 who, that(which)を用いた文の理解をもとに、言葉に詳しい情報を加えて説明することができている。 <CAN-DO リスト、評価表(1)>
	1	○教科書の内容を参考に「The person I respect」に必要な情報を、マッピングにまとめ、英語で話すことができる。 「The person I respect」に必要な情報をマッピングにまとめ、英語で表現しよう。	・「The person I respect」に必要な情報や質問の仕方を理解することができた。 ・相手が興味をもつ内容になるよう情報を整理し、既習の英語で表現することができた。	◇関係代名詞 who, that(which) (主格・目的格) を用いた文をつかって、「Person I respect」に必要な内容を表現することができる。 <CAN-DO リスト、評価表、双方向授業支援アプリ(1)>
	1	○ALT の発表を聞き、質問したいことを整理し、尋ねることができる。 ALT のスピーチを聞いて、発表の内容を工夫したり、聞き手に質問したりしよう。	・質問や聞き返しをしたりつなぎ語やジェスチャーを使って即興的に話したりすることができた。	◇憧れの人物について発表したりやり取りをしたりしようとしている。 <CAN-DO リスト、評価表、双方向授業支援アプリ(3)>
まとめ	1	○「The person I respect」の内容と写真を使用して、聞き手の質問に答えながら即興的に話すことができる。 互いの「The person I respect」について知るために、発表したり自由にやり取りをしたりしよう。	・相手が興味をもって聞けるようにするために、キーワードや写真を見せながら話すことができた。 ・友達のアドバイスを参考にもっと上達したい。	◇憧れの人物について発表したりやり取りをしたりしようとしている。 <CAN-DO リスト、評価表、双方向授業支援アプリ(3) [記]>
	1	○友達からの評価や、録画動画を参考に自身の課題を明確にした上で「The person I respect」について聞き手の質問に答えながら即興的に話すことができる。 互いの「The person I respect」について知るために、自分自身の目標を意識しながら発表し合ったり、自由にやり取りをしたりしよう。	・発表において、質問や聞き返しをしたりつなぎ語やジェスチャーを使って即興的に話したりすることができた。 ・録画動画や友達の評価を参考に改善を図ることができた。	◇友達の評価を参考にしながら憧れの人物について発表したりやり取りをしたりしている。 <CAN-DO リスト、評価表、双方向授業支援アプリ(3) [記]>
	1	○「The person I respect」の内容について ALT と即興的に話すことができる。 「The person I respect」について ALT と自由にやり取りをしよう。	・発表において、つなぎ語やジェスチャーを使って即興的に話したり、ALT とやり取りをしたりすることができた。	◇友達の評価を参考にしながら憧れの人物について発表したりやり取りをしたりしている。 <CAN-DO リスト、評価表、双方向授業支援アプリ(3) [記]>